令和２年度　４園総括事業計画書

**１．はじめに**

　　平成２７年４月に「子ども・子育て支援新制度」がスタートして５年を迎えようとしている。この制度は５年を１期とし、保育料無償化等の子育てを支援する制度で、来年度からは第２期目が開始される。

　　そのような中、当法人は子どものより良い環境作りや保育サービスの充実、宗方保育園の幼保連携型認定こども園への移行による安定的な経営、宗方東保育園の園舎改築による利用定員増等、新たな取り組みを展開していく。

　　また、保育士不足は喫緊の課題であるため、保育の仕事にやりがいを持って働き続けられる環境づくりや業務の見直し等、働き方改革を推進していく。

　　なお、多くの子ども達の命を預かる保育園は、安心で安全な場所でなくてはならない。そのため、災害時の危機管理、不審者の侵入、感染症の拡大、園内での事故等、さまざまな場面での対策を考え、一層の危機管理の強化と徹底に努めていく。

**２．保育・教育理念**

　　・園を利用する子どもの最善の利益のために、子どもの人権や主体性を尊重し

　　　心身共に健やかな成長を育む。

　　・保護者や地域社会から信頼される保育園・子ども園を目指す。

**３．保育・教育方針**

　　・安全で健康かつ快活な園生活の中で、一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、将来を生き抜くたくましい心と体づくりに取り組む。

**４．保育・教育目標**

　　①　自然に親しみ元気でたくましい子ども。

　　②　自分で考える子ども。

　　③　思いやりのある優しい子ども。

　　④　心身ともに明るくのびのびした子ども。

**５．重点的な取り組み**

　(１)宗方こども園移行に伴う新たな運営の再編、また外の３園についても、中長期計画の実施に努める。運営の見直しに努めていく。

　(２)深刻な保育士不足に対する取り組みとして、養成校・人材センターとの連携や保育のしごと就職フェアへの参加により、人材確保の推進に努める。

　　　また、短時間職員の配置を推進し、職員の業務の分担化や負担軽減に努める。

　(３)保育士の業務負担軽減を図る。

　　　・ＩＣＴ化の推進により事務処理の効率化

　　　・保育補助者の確保により業務の分担化